

2006

# パーティションを兼ねた収納棚

Storage Shelves-cum-Partition

AD07 内山 紫月  
指導教員 小西 均

## 1. 研究目的

多くの学生は親元から離れ一人暮らしをして学校に通う傾向がある。

一人暮らしをするようになると生活が乱れやすく、部屋が散らかり室内の環境に悪影響を与える。今回の研究では収納家具をとりあげ自ずと快適になれる生活環境を探る。

## 2. 調査と分析

一人暮らしの生活について、家賃・間取り・不便なことを調査した。一人暮らしの学生が使用している部屋は6畳程度のワンルーム、1Kタイプが多い。

ワンルームとは部屋の一部にキッチンが含まれている部屋のこと。また、1Kは1つの居室とキッチンが2つに仕切られている部屋を言う。以前はワンルームが人気トップだったが最近では1Kが主流になってきている。しかし、関西地区ではワンルームのほうが人気があり、全体的に見てもワンルームの使用率は低くない。

一人暮らしサイトでの部屋の不便・不満

- ・ワンルームはドアを開けるとすぐに部屋なので落ち着かない。
- ・玄関から部屋が筒抜けでプライバシーが守れない。
- ・収納が少ないので家具を置かなくてはならず部屋が狭くなる。
- ・キッチンが狭いので片付けられず不便。

## 3. コンセプトの立案

「キッチン収納兼パーティション」

調査で不満の声があげられたワンルームを今回の提案に設定する。

玄関から居室が見えることを防ぎ、狭いキッチンを有効に使用できる棚を提案する。

## 4. デザイン展開

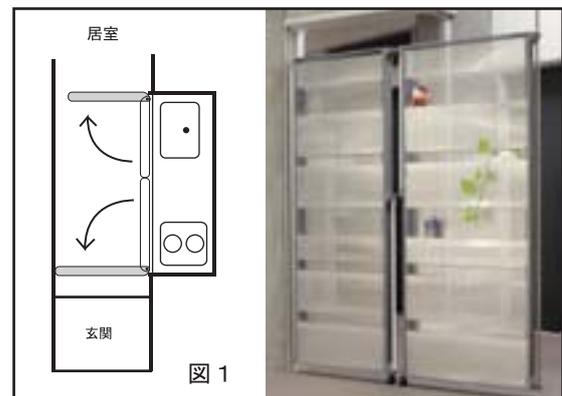
最初はキッチンの収納、廊下と居室の仕切りを意識して考えていたが、プライバシーの保護を重視すべきだと感じた。

ワンルームタイプの部屋では玄関を開けた際、どうしても中が見えてしまう。また、生活感の出

やすいキッチンは親しい人が訪れた場合見られたくないところである。この二つをカバーするため可動式の収納とした(図1)。そして、隠すだけではなく演出という意味を持たせ他人から見える面は飾り棚としての利用、もう一方の面は料理をするときや整頓に役立つよう両面から収納できるようにした。

棚板の部分は見えにくいのが圧迫感を与えないパンチングメタルを使用。家具量販店で販売するという設定なので棚板パーツはすべてユニットで生産でき、成型方法は押し出し成型で全体的に軽量化を目指した。

## 5. 完成図



## 6. 結論

一人暮らしの方や普段台所に立つ女性の方に見てもらった結果、かっこいい、便利そう、素材に関しては現代的でおしゃれなど多くの好評を頂いた。見た目について重いと言う印象を持たれたが実際に触るとそうではないと分かってもらえたので軽量化はおおよそ成功したと言える。棚の間隔を見直し改善すればより使いやすくなると思う。より深く理解していればもっと細かい点にも気を配ったデザインができたと感じた。

## 7. 参考文献

「一人暮らしの現状と部屋探しについて」

<http://www.athome.co.jp/news/questionnaire/shutoken.html>